

平成25年第12回中津川市教育委員会議事録（要旨）

日 時 平成25年10月29日（火） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 小幡 隆徳 松田 幸博 田島 雅子

小栗 仁志 大井 文高

事務職員 山内事務局長 岩久教育次長兼学校教育課長
岡本子育て支援対策監兼幼児教育課長
今井文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長
大塚教育企画課長 嶋倉教育研修所長
幸脇阿木高等学校事務長 田島発達相談室長
山下子育て政策室長

会議日程 1 開 会
2 議 事
3 閉 会

番 号	議 題	結 果
議第20号	平成25年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について	承 認

【開 会】

【議 事】

【委員長】議事に入ります。日程第1、議第20号 平成25年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について、事務局から説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【委員長】前半の5つの事業について、検討していただきます。この評価制度については、まず教育委員会事務局で自己評価というか一時評価をしていただき、外の評価委員会で検討されて評価をいただき、今日が教育委員会としての最終的な評価、調整した評価をするということです。事前に資料を読ませていただいていますので、この5つについて、ご意見をいただきたいと思います。

私からのびのび学習支援指導助手の配置事業についてです。評価委員会では拡大して継続というご意見をいただいています、教育委員会としては現在のまま継続ということです。表現としては違っていますが、評価委員会でいただいた意見そのものです。今進めている事業がこういった評価委員会の意見に沿うものであると思いましたので、教育委員会としては現在のまま続けていくというように評価を変えさせていただきました。

【松田委員】のびのび学習支援指導助手配置事業についてです。内容ではなくて文言がおかしいのではないかという点です。1行目「のびのび学習支援指導助手を30名を」と「を」が2つ重なっています。これは訂正になるのでしょうか。

【教企課長】分かりやすいように訂正いたします。

【委員長】「のびのび学習支援指導助手30名を」ということで、最初の「を」を削除するということでよろしいですか。

【田島委員】放課後児童健全育成事業についてです。私たちは評価をしてしまったところで申し訳ないのですが、大変な場所でやってみえる方々もあります。一昨年、回ったところでは本コーナーというのがありまして、非常に貧相な状態でした。図書館には何もないのですが、図書館と連携も取っていただいて、本コーナーも充実してあげたらいいと思いました。

【子政課長】図書館と相談し、できるところは連携してやっていけるといいと思います。

【教育長】のびのび学習支援指導助手にかかわって、評価委員と教育委員会の評価にずれがあるということですが、評価委員の意見の2点目にあるような『大勢の手を掛けた環境づくりをしたら中津川市が言っている、「たくましい子」、「一人立ちのできる子」が育つか、という疑問も残ります』というところで、拡大というのは単に人数を増やすという問題だけではなく、言っていることは充実させるということですが、人数だけではなくてむしろどう活用するかを充実させていくことが大事ではないかという思いでの現在の状態であるということだと思っております。

【委員長】私の先ほどの説明もそういった思いでお話をさせていただきました。そのように理解するというのでいいと思います。ほかはよろしいですか。

それでは5つ目までの事業については、こんな形で評価をするということでお願いします。続いて、郷土資料調査活用事業からご説明をお願いいたします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【委員長】後半5つの事業について、ご意見をいただきたいと思います。

【田島委員】子ども金メダル事業についてです。教育委員からの選定委員をやらせていただいています。目的がスポーツ中心の目的となっていますが、子ども金メダル事業では、地域ぐるみで未来を担う子どもたちを育成しますや、ふるさと中津川への郷土愛を育みますという文言も入っています。それがここには割愛されているのはどうしてですか。

【委員長】文化スポーツ部次長。

【文ス次長】本来、要項には田島委員の言われることが入っています。ここの表現では、抜け落ちていると私も感じています。できたらここを修正する機会を与えていただきたいと思います。

【教企課長】私からも補足させていただきます。この評価の一つ一つのシートの作り方のルールを私たちなりに決めました。市が総合計画として行っている後期事業推進計画というのがあり、その中の記述をそのまま子ども金メダル事業が含まれる項目の目的欄に持ってこようという機械的なルールでやってしまいました。それでスポーツだけで文化面の部分が欠落してしまった状況になっています。その辺も反省したいと思います。

【委員長】田島委員、よろしいですか。

【田島委員】ということは、後期総合計画の方も入れないといけませんよね。後期総合計画にはこちらの目的が入っているだけで、さっき私が申し上げた子どもたちの地域ぐるみで未来とかふるさとの郷土愛を育むというのが入ってなかったわけですよ。

【教企課長】実は、上下関係が反対と言いますか、子ども金メダル事業を掲げている、それを含むもう1つ上の大項目の見出しになってしまっていて、構成が複雑で分かりにくくて申し訳ありません。子ども金メダル事業の目的は変わってはおりません。

【委員長】田島委員、よろしいですか。

【田島委員】評価委員にはこの目的で出しているの、内容、評価が大変厳しい評価になっています。そここのところはずれがあったので、私は残念に思いました。私たちが選定をするときに何を目標としているかという、ふるさと中津川が1位になった子どもたちを応援するために金メダルを送るんだ、中津川、ふるさとという心を担ってほしいという気持ちがたくさんあるので、すごく厳しい基準を設けてい

るわけではなく、探してきてこういう大会がありました、だからいかがでしょうか、という申請式になっています。今年で3年目ですが、どんどん皆さんから情報を頂戴して上げていくという形になっていて、厳しい基準という形ではなく、できるだけたくさんの子にこの幸せを味わってもらおうというのが委員全体の思いです。これで見るともっと選考基準がとてもあいまいだからという言い方がされているので、どうしてこうなったのかなと思いました。目的のところを見ると、厳正なスポーツの結果というように見えてしまったのが残念だと思います。

【文ス次長】今、総合計画を確認しましたが、実は子ども金メダル事業は、2つの部門で表現しています。1つ目が、子どもたちが夢や自己実現の喜びをもって生きることができるよう、また芸術や音楽などに感動し豊かな感性が育つ機会の創出に努めます、というのを目的としています。もう一つがスポーツの部分で、スポーツ少年団や総合型地域スポーツというのを表現してダブルで入っています。ところが、この評価シートはその2つのうちの1つだけを表現してしまい、誤解の生じるようなことになってしまったと今分かりました。総合計画の中では、両方でうたっているということは事実です。最終的な評価シートのところの目的の表記の仕方が手落ちであったと感じております。

【教企課長】評価委員との議論の中では、スポーツだけでなく広く文化面での表彰をしているという話は伝えておりますので、このシートの目的欄にもう一つ挙がっているという部分を加えさせていただければありがたいと思います。委員の話の中で、金メダルの授賞式に参加した方もおられ、スポーツだけじゃないという話も実際に出ています。私の感触ですが、変えさせていただいても問題はないのではないかと思います。

【委員長】もうこの評価をいただく段階で説明がされているということですので、もう一点付け加えていただいて目的を補っていただくということではよろしいでしょうか。田島委員。

【田島委員】私はもう少し金メダル委員を続けなければいけないので、私としても文化面をもっと掘り起こしていきたいと思います。最初に考えたのは正規の大会とか、県・国まで行く大会がスポーツではあるのですが、文化面では非常に持つていきにくいものがあります。読書感想文や絵ハガキコンクールなど、コンクールとついたものは大変評価はしやすいのですが、当初、話をしていた中では、たとえば親孝行している子にあげたいとか、ごみ拾いを継続している子にあげたいとか、お行儀のいい子にあげたいとか、そういう願いもありました。できればこの中に手段を見直してという部分もあるので、これからもっと評価の基準なりを広げて進めていければと思っております。

【委員長】今いただいたようなご意見で今後も見直して継続していくという評価にまとめたいと思います。松田委員。

【松田委員】文化面で受賞された金メダルをもらった子どもはいますでしょうか。

【文ス次長】今手持ちで資料がないのですが、多くの方が授与されております。

【田島委員】代わりに答えます。ラーメンの作り方で日本一になった子もいます。読書感想文のコンクールで1位になった子たち、絵葉書コンクールで1位になった子たち、ルーブル美術館に絵を展示してもらえるとという生命保険会社のコンクールで1位になった子たち、文化面はそういう子どもたちに差し上げることができています。

【松田委員】いただいた子どもたちがいるということですので、本来の目的がこれだけではなくて文化面の目的もあるということですね。それで、スポーツ面と文化面の両方が目的の中に入って、それを言葉ではきちんと記入されていて、それに対して評価をしていただくということが正しいルールだと思います。私の希望としては、できればこの件については、今回の評価から取り下げてもいいのではないかと。改めて来年きちんとした形で評価をしていただく方がいいのかなという気がします。

【委員長】今回はこの事業については評価を取り下げて、来年、もう一度改めて行うというご意見ですが、一度こういう評価委員の評価をいただいて、これを取り下げるということはできますか。

【教企課長】不可能ではないと思いますが、最初に各委員に紙面だけでなく担当課からご説明さしあげて、そのときには文化面でも子どもたちに授与しているという話はしていますので、評価はそれほど変わるものではないように思います。

【教育長】委員にももちろん説明があるわけですが、私どもの点検評価の事前の資料でいただいたものの中に、目的の下に全体計画というのがあって、ここには、「自信と誇りを持ち豊かな心を育み地域ぐるみで健全な子どもを育成するため、スポーツ、文化活動等で顕著な活躍や成績を修めた子どもに金メダルを送る事業」と書いてあります。ということは文化活動もこの段階で目にしております。目的のところは確かにそこが欠けていたということではありますが、評価に当たるときにはそれも承知で動いていると考えられるのではとっております。ただし、この全体計画に、顕著な活躍や成績を修めた子どもに金メダルを贈る、となっておりますので、その辺で基準がはっきりしてないというところが出たと思っております。

【委員長】松田委員、いかがでしょうか。

【松田委員】よく分かりました。ただ、この評価の出方がこのままでだとまずいのかなと。たとえば市議会にこのまま出るのであればまずいと思っておりますので、きちんと説明を入れるなり対策をしていただければ結構かなと思います。

【委員長】そのような形でまとめていただくということでお願いいたします。ほかはございませんか。田島委員。

【田島委員】読書活動推進事業についてです。目的の4行目の図書館を中心に家庭、学校、地域とあります。学校図書館の敷居がまだまだ高いという話を聞いておりま

す。読書推進計画の中にも入っていますので、できるだけ学校図書館との連携も密に図っていただけるとありがたいと思います。

【委員長】ほかにございませんか。田島委員。

【田島委員】ふるさと中津川学習事業と郷土資料調査活用事業についてですが、ふるさと中津川学習事業というのは本当にいい事業で、郷土愛を育む子どもたちが中山道歴史資料館へ行ったり図書館へ行ったりして、中津川のことを調べていて非常にいい事業です。こういう事業があって郷土資料の調査活用事業というのもあるので、できるだけ連携して活用すると非常に盛り上げていくことができるのではないのでしょうか。どうしても、事業ごとに独立して進めていて、それをよそが知らないということがすごくたくさんあります。どちらも同じ項目というか活用して、子どもたちもこういうものがあるよ、すぐに見られるから活用していくんだよ、ということ教えてあげると、どちらの事業も効果があるのではないのでしょうか。

【委員長】ほかによろしいですか。小栗委員。

【小栗委員】子ども金メダル事業について意見ですが、事業の周知の必要ということとは私も書かせていただきました。なぜ書いたかという、子ども金メダルというのは、たくさん子どもにあげるというのが一つの意義だと思います。数を絞ることではなくて、成果を上げた子どもたちにはそれなりに評価をしてあげる、やみくもにあげるのではなくしっかり評価した上であげるという。その中で、どこまで子ども金メダルというものが認知されていて、どんなことをやったらもらえるかということがどれだけ伝わっているかというのが、私自身なかなかピンと来ない部分があります。こんなことをやって子ども金メダルをもらっている子がいますよというな、そんなことも含めて、何か周知するような場があると、私たちが知らないところで「僕こんなことやったんだけど」という子が出てきたり、非常にスポーツ、文化面合わせて、なかなか日の目を見ないマイナーなところで、活躍している子がいたり、そんなようなところも出てくるのかなというのがあります。周知の仕方なども広めていけるようにしていただけるとありがたいと思います。

【委員長】授与式をいろいろな方法でやっていただいています。さらに周知できる方法を考えてくださいというご意見でした。ほかよろしいでしょうか。

ご意見もございませぬようです。それでは、日程第1、議第20号 平成25年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書については、承認とさせていただきます。

これをもちまして第12回中津川市教育委員会を以上で閉会とさせていただきます。

【閉 会】